

発行: 埼玉県環境部水環境課  
TEL: 048-830-3088  
FAX: 048-830-4773  
E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp



# 川の国応援団通信



## フリー！フリー！川の国応援団 川の再生交流会開催！



平成25年2月3日(日)、午前10時から埼玉会館において、川の再生活動に取り組んでいる皆さん、約520名が一堂に会し、「川の再生交流会〜フリー！フリー！川の国応援団〜」を開催しました。

午前の部第1部は、県立浦和第一女子高等学校アナウンス部の司会でさわやかに開催されました。

始めに、ジュニアコーラスグループの「ウイングスジュニア」の皆さんにオープニングコーラスを披露していただきとともに、開会宣言を行っていただきました。

上田知事は、「ふるさとの川を再生しようという熱い思いを持った多くの方々に参加いただき心強い。全ての川でアユが釣れ、塩焼きで食えることができるようにしたい」と挨拶。

続いて、第5回川の国埼玉フォトコンテスト表彰式と川の国応援団美化活動団体感謝状贈呈式が行われました。感謝状贈呈式では、19団体が登壇し、感謝状受領団体を代表して「青淵公園をキレイにする会」の久保田さんが知事から感謝状を受け取り、知事に「私たち川の国応援団が、これからも埼玉の川を守っていきます。」と力強く決意表明を行いました。

参加者が一致団結し士気を高める「宣言」は、「川の国応援団がんばろう宣言」として、「唐沢川を愛する会」の栗田さんが川の国応援団を代表して宣言者を務め、壇上には「ウイングスジュニア」の皆さんも加わり、会場の皆さんと一体となって、盛大に行われました。

第1部の最後は、参加者全員で県歌を斉唱しました。ふるさと埼玉を大切に作る気持ちを育んでいただけたことでしょう。



「川の国応援団がんばろう宣言」の様子

午前の部第2部は川の再生活動を行っている皆さんから事例発表が行われました。

「所沢市立上山口中学校生徒会」の皆さんによる【柳瀬川最上流域での取り組み】、「NPO法人荒川流域ネットワーク」の鈴木さんによる【アユがすめる川づくり】、「川にやさしい浄化槽フォーラム埼玉」の幾島さんによる【浄化槽にやさしいマナー〜川をきれいにするために〜】、「よみがえれ元荒川の会」の半田さんによる【川の好感度チェック〜五感による川の調査〜】、水辺再生課による【川の再生の取組について】の発表が行われ、午前の部が終了しました。



幾島さんによる活動事例の発表の様子

午後の部は、初心者向けからベテラン向けまで幅広いテーマを設定した分科会を行いました。

今年の分科会のテーマは例年とは少し趣向を変え、①「始めの一步〜川の国応援団はじめます〜」②「アユがすめる川づくり」③「浄化槽にやさしいマナー〜川をきれいにするために〜」④「川の好感度チェック〜五感による川の調査〜」⑤「多自然川づくり〜子供が遊べて魚がすめる川づくり〜」⑥「にぎわいの川づくり〜まちづくり〜文化・歴史・教育〜」の6つのテーマで行われました。各会場とも活発に意見交換が行われました。



分科会での意見交換の様子

分科会終了後、各分科会の代表者による発表が行われ、埼玉連の岡里さんの閉会宣言により、川の再生交流会は閉会となりました。

参加者からは、「とても勉強になった。今後の活動に活かしていきたい」といった感想をいただき、川の再生活動に取り組む団体の皆さんにとって大変有意義な交流会となったようです。

# 会員のひろば



## 活動報告

～504団体が県内各地で活動中！～

今回は、2月3日に開催された「川の再生交流会」に参加された2団体からの報告です。

### 「川の再生交流会で

#### 「熊谷市ムサシトミヨをまもる会」

江守 和枝

私たちの会は、世界で熊谷市にしか生息していない絶滅危惧種のムサシトミヨを守る活動に取り組んでいます。

普段は、元荒川最上流部のムサシトミヨ生息地で、ムサシトミヨが住みやすく人間と共生できる環境づくりを目標として、除草作業や清掃活動を行っています。また、地元の小中学校3校と協力しながら増殖活動や啓発活動にも取り組んでいます。

この度、2月3日に開催された川の再生交流会に参加し、私たちが大切に育てているムサシトミヨをPRしてきました。

交流会の会場では、一番目立つ入口に水槽を設置し、ムサシトミヨの展示をさせていただきます。たくさんの方々にムサシトミヨと対面していただくことができ



ました。初めてムサシトミヨを目にする人たちは、「こんなに小さい魚なんだ」、「地味な魚ですね」と言っていました。

さらに、嬉しいことに上田知事にもムサシトミヨをご覧になっていただくことができました。午後の分科会にも参加し、ムサシトミヨの生息地や私たちの活動についての発表を行い、PRすることができました。

県内の川の再生活動に取り組む団体がたくさん集まる場で、私たちが一生懸命取り組んでいる活動を皆さんに知ってもらおうことができ大変良かったです。

これから活動を続けていくうえで、大きな励みとなりました。

また、熱い思いを持った参加者の方々と意見交換も行うことができ、大変有意義な一日となりました。

### 「川の再生交流会で柳瀬川

#### 最上流域での取り組みを発表」

#### 【所沢市立上山口中学校

生徒会一同&校長先生】

#### 《生徒会長 日高 太智》

今回、たくさんの方が集まる場所での川のことを発表できたことはとても良い経験になりました。僕たちが発表したことは基本的なことでしたが、川を学ぶうえで基本の知識はとても大切だと思います。今後も地元柳瀬川の清掃に取り組みたいです。

#### 《生徒会副会長 粕谷 大翔》

僕は、小学4年生の頃から「柳瀬川の最上流をきれいにする会」の活動に参加しています。会場には多くの団体の方がいましたが、年配の方がほとんどでした。もっといろいろな年代の人が環境保全活動に参加し継続していくことが大切ではないかと思いました。

#### 《生徒会副会長 神戸 卓希》

今回の川の再生交流会で、川をきれいにする人全員の努力というものを見ることができました。川をきれいにするために、次は私たちが受け継ぎ、次世代へ託すべきだと思いました。

#### 《生徒会会計 八木 優人》

私は、今回の川の再生交流会に参加して、皆さんの川への愛情を感じる事ができました。私たち

の「柳瀬川の最上流をきれいにしよう」という思いも伝えることができましたと思います。きれいな川の国の実現のため、頑張ります。

#### 《生徒会会計 萩嶋 啓人》

川の再生交流会で僕が感じたことは、いろいろな種類の活動があり、感じ方もいろいろあるということですね。また、一日でも早く下水道を整備してほしいとも感じました。発表をしたことにより、僕たちの気持ちや、たくさんの人に伝わったと思います。

#### 《生徒会書記 楠本 杏奈》

私は、川の再生交流会をとおして多くのことを学ぶことができました。そして、その学んだことをたくさんの人たちに伝えるという貴重な体験をすることができ、生徒会に入って良かったと思いました。もっと川のことをいろいろな人に知ってもらいたいです。

#### 《学校長 北村 雅孝》

今回、川の再生交流会において、生徒たちに貴重な実践発表の場を経験させてあげることができました。本校の柳瀬川の最上流をきれいにする取組は、今年で6年目を迎えました。今後も地域の方々とともに「ふるさと所沢を愛する心」を育むため、積極的に地域活動に参加して参りたいと思います。

川の国アドバイザー  
制度の紹介



今回は、川の国アドバイザー制度について、川の国アドバイザーの一人である横山隆さんと制度を利用した2団体の感想を紹介いたします。

「川の国アドバイザーとして」

環境学習を実施」

【川の国アドバイザー 横山 隆】

川の国アドバイザーとして、平成25年2月15日(金)に川口市立上青木南小学校4年生の環境学習に行ってきました。子供たちの芝川や自然についてのいろいろな疑問に答える授業でした。子供たちからは、侵略的外来種などの難しい質問も出てきましたが、実際に芝川に行ってその生き物を見ながら問題点をみんなで考えることができました。

最後にまとめを行い、さあ帰ろうとみんなが立ち上がった時に、ハトが飛んできました。何とそのハトは片足の先がありません。子供たちは、どうして?どうして?と大騒ぎ。捨てられた釣り糸が原因で切れてしまったのかもしれないと話しました。

「ごみのポイ捨てや家庭からの排

水など、人間の生活が多くの生き物に影響を与えます。「ごみを減らすこと、ごみを出さないこと」が環境を守ることだと、一羽のハトをとおして子供たちに伝えることができました。

これからも川の国アドバイザーとして子供たちをはじめ、多くの人たちに環境の大切さを教えていきたいと思えます。

「川の国アドバイザー制度を利用」

【川口市立上青木南小学校 矢作 朋子 先生】

平成25年2月15日(金)の総合的な学習「くらし探検隊」において、川の国アドバイザー制度を利用し、横山隆先生に環境学習を行っていただきました。

今回、制度を利用したのは、経験豊富な川の国アドバイザーの横山先生に、自然環境について調べている子供たちの疑問に答えていただいたり、実際に自然を観察し、子供たちに自分たちができるともや今後の生活に活かせることを見つけてもらうためにご協力いただきました。ありがとうございました。

授業では、子供たちとの質疑応答や学校のすぐ近くを流れる芝川での自然観察を行っていただきました。

横山先生からは、子供たちに「い

っぱい自然で遊び、その中で自然を知ってほしい。」と語っていたいただきました。

子供たちは目を輝かせ、時には驚嘆の声を上げながら



横山先生の話聞いていました。自分の疑問を解決できたり、自分がこれから自然環境を守っていくためには何ができるのかを見つけることができた子供も多く、私たち教諭も含めて学ぶことの多い授業でした。

「川の国応援団として」

川の国アドバイザーの話聞く」

【NPO法人 彩郷土塾 篠原 吉則】

平成25年の新春講演会として1月11日(金)に久喜市ふれあいセンターで、川の国アドバイザーの八木橋孝雄先生のお話を一般参加者14名とともに聴講しました。

八木橋先生から、川やその周辺にいるサギなどの鳥、鮎や鯉などの魚、県の蝶であるミドリシジミやホタルを中心とした昆虫たちの生息環境の話聞き、埼玉の地域環境を考える上で、河川水質の重

要性や周辺の自然の価値を改めて認識することができました。中でも、八木橋先生が取り組まれている宮代町の山崎山雑木林を中心とした「さいたま緑のトラスト」活動の解説は私たちの活動を推進する上で大変役立つ内容でした。



また、日々の生活の中で身近な青毛堀川や、青毛・青葉地域の宅地化に伴い雨水排水路になってしまっている平沼用水路などの現状環境を改めて見直す良い機会になったと感じています。

今後は、講座だけでなく、実際に川の環境を調査したり、川の動植物を観察する活動も充実させていきたいと思っています。

なお、後日、山崎山雑木林で行われた冬の観察会に参加してきました。コナラの冬芽や落葉の下の新芽を採って苗床を作成する活動を体験することができました。

これからは、川を通じた上流と下流域での連携が大切になってくると考えています。また、我々も自然環境を観察・指導するスキルアップが必要だと感じました。

# 川の国応援団の支援メニューが増えます！

平成25年4月より、川の国応援団の支援メニューに「テント」の貸出し、「のぼり旗」「のぼり旗用ポール」「帽子」の提供が新たに加わります。

「テント」は、天幕に大きく「川の国応援団」と書かれています。イベントの際にご利用ください。

「のぼり旗」は、今回新たに、団体名が記入できるスペースを設けました。団体名を記入して掲げていただければ団体活動のアピールとなります。また、「のぼり旗用ポール」の提供も始めましたので、あわせてご利用ください。

「帽子」は、川の再生交流会の参加者にお配りして好評をいただきましたので、今回、支援メニューに加えることとしました。なお、数に限りがあるため、先着順で1団体につき20個までとさせていただきます。この機会にぜひご利用ください。

水を入れるタイプの重りも貸出しています。



「テント」→サイズは1.5×2間です。



「帽子」→1団体20個までとさせていただきます。



団体名を記入していただくことができます。

「のぼり旗・のぼり旗用ポール」→1団体5枚・5本ずつまでとさせていただきます。

## 支援を受けるとは？

川の国応援団の支援は、お近くの「川の国応援団サポートデスク」で受けることができます。上記の新メニューはもちろん、川の再生活動に役立つ支援メニューを用意しておりますので、ぜひご利用ください。支援の内容・手続等で分からないことがあれば、お気軽にお問い合わせください。

### 県庁

○水環境課(TEL:048-830-3088)  
○水辺再生課(TEL:048-830-5133)

### 環境管理事務所

○中央環境管理事務所(TEL:048-822-5199)  
○西部環境管理事務所(TEL:049-244-1250)  
○東松山環境管理事務所(TEL:0493-23-4050)

○秩父環境管理事務所(TEL:0494-23-1511)

○北部環境管理事務所(TEL:048-523-2800)

○越谷環境管理事務所(TEL:048-966-2311)

○東部環境管理事務所(TEL:0480-34-4011)

### 県土整備事務所

○さいたま県土整備事務所(TEL:048-861-2495)

○朝霞県土整備事務所(TEL:048-471-4661)

○北本県土整備事務所(TEL:048-540-8200)

○川越県土整備事務所(TEL:049-243-2020)

○飯能県土整備事務所(TEL:042-973-2281)

○東松山県土整備事務所(TEL:0493-22-2333)

○秩父県土整備事務所(TEL:0494-22-3715)

○本庄県土整備事務所(TEL:0495-21-3141)

○熊谷県土整備事務所(TEL:048-533-8778)

○行田県土整備事務所(TEL:048-554-5211)

○越谷県土整備事務所(TEL:048-964-5221)

○杉戸県土整備事務所(TEL:0480-34-2381)

## 編集後記

川の国応援団の団体数がついに500団体を突破しました！(平成25年3月22日現在504団体)

2年前の春は、まだ、233団体でしたが、その数の多さにびっくり。どんな人たちがどんな活動をしているのか全く分かりませんでした。

しかし、皆さんと直接会ってお話したり、イベントに参加したりして、少しずつ皆さんの活動が分かってきました。その成果でしょうか、先日の川の再生交流会では、たくさんの方々に名前を覚えていただけたようで、皆さんから声をかけていただきました。ただ、まだまだコミュニケーションを取ったことがない団体さんもあります。皆さんの活動を知らするためにこれからも情報収集に努めていきたいと思えます。皆さんからも情報をお寄せいただくと幸いです。

一緒に川の再生の輪を広げていきましょう。

(S&S)

発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
(第3庁舎1階)  
TEL:048-830-3088  
FAX:048-830-4773  
E-mail:a3070-03@pref.saitama.lg.jp

☆活動予定や活動報告などをお寄せください。  
☆資材の提供や貸出し等のご希望があればご相談ください。  
☆連絡先等の変更があればご連絡ください。

川の国応援団のHP  
<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kawanokuniouendan/>

